

複写をご希望される方へ

愛知学院大学薬学会は、本紙掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写を希望される方は、一般社団法人学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、公益社団法人日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の方にあってはその必要はありません（社外頒布目的の複写については許諾が必要です）。

権利委託先 一般社団法人 学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
TEL : 03-3475-5618 FAX : 03-3475-5619
E-mail : info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳等のような複写以外の許諾は、一般社団法人学術著作権協会に委託しておりません。直接本会へお問い合わせください。

問い合わせ先 愛知学院大学薬学会
TEL : 052-751-2561 FAX : 052-757-6799

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡ください。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone 1-978-750-8400 FAX 1-978-646-8600

編集査読委員

村木克彦、安池修之、小幡 徹、
加藤文子、小川法子、徳本真紀

編集後記

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の感染者数は治まっているとは言えないにも関わらず、社会状況はコロナ渦以前に戻りつつあります。対面形式での学会開催も少しずつ増えてきています。コロナ渦で様々な影響を受けていますが、学会や授業だけでなく様々な会議が遠隔で開催され、否が応でも遠隔技術が発展し広く社会に普及したことは良かった点かなと感じています。対面で最新知見を直接拝聴することは非常に有意義であるのはわかっているのですが、遠隔の手軽さに溺れている自分もいます。少し気になるけど直接聞きに行く程でもないかなという学会などでも遠隔だと簡単に参加できるので、ずっと続けてくれな
いかなと思ってしまっています。

昨年度、初めて会誌の編集作業に携わり、よくわからないながらもなんとか発刊できました。今年は少し余裕を持った編集作業が出来ると高を括っていたのですが、、、、。メ切りに追われ、細かなミスが多発しております(m_m)。

(小幡 徹)

愛知学院大学薬学会誌 第15巻

令和4年12月20日印刷 令和4年12月26日発行

発行 愛知学院大学薬学会
名古屋市千種区楠元町1-100
愛知学院大学薬学部内
電話 052-751-2561 (代表)

編集長 小幡 徹

印刷 株式会社コピンピア